



[2024 年度▶2028 年度]

櫛引地域振興計画



令和6年3月
鶴岡市櫛引庁舎

目 次

1. 計画策定の趣旨	1
2. 檜引地域の特性・概要	2
3. 市民との対話や社会情勢等の変化から得られた課題	3
(1) 現計画の取組に係る整理と検証	
(2) 市民との対話などから得られた課題	
4. 檜引地域の目指す方向性	5
5. 施策の基本方針と主な施策	6
基本方針1 フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	
主な施策(1) 果樹生産基盤の強化	
主な施策(2) フルーツの里ブランド化の推進	
主な施策(3) 体験型観光産業の振興	
主な施策(4) 地域資源を活用した観光振興の強化	
基本方針2 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	
主な施策(1) 民俗芸能の継承支援	
主な施策(2) 歴史文化の活用推進、観光連携	
基本方針3 コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進	
主な施策(1) 活力と持続性のあるコミュニティの推進	
主な施策(2) 協働のまちづくりと地域のにぎわい創出	
主な施策(3) 高齢者等の交通環境の支援	
主な施策(4) 健康で安全・安心な地域づくりの推進	
[参考資料]	18
檜引地域の施策の方向性・振興方針イメージ図	
統計資料・地域の主な文化財や伝統芸能等継承団体	

1. 計画策定の趣旨

鶴岡市は、市町村合併した3年後の平成20年(2008年)度に、各地域で築かれてきた地域特性や固有の資源を生かした地域づくりを進めるため、中長期の振興方針「地域振興ビジョン」を策定しました。また、平成25年(2013年)度には、鶴岡市総合計画の基本構想や後期基本計画を踏まえた「地域振興計画」を策定し、平成30年(2018年)度には「地域振興計画」を刷新し、「地域まちづくり未来計画(事業)」をスタートしました。

櫛引地域では、「フルーツタウン・黒川能の里くしびき」を中心にした施策、また地域特性に合った農業振興、農業体験等による都市農村交流など各種プロジェクトに取り組んできたところです。これまでの取組については地域振興に一定の役割を果たしてきたと考えますが、改めて地域の抱える課題を整理し対応する必要があります。

令和2年(2020年)以来流行している新型コロナウイルス感染症により、人流が抑制され、観光客の減少や、イベントが開催できないなど、産業や教育、コミュニティ活動等すべてにおいて大きな影響がありました。この間、従来の行動や生活、行事等に対する考え方の変容、人口減少や担い手不足のさらなる進行が見られました。一方でオンラインによる仕事や交流をはじめ、デジタル化の進展により新たな生活様式が可能となる時代に突入しつつあります。

これらの情勢に対し、第二次鶴岡市総合計画の見直し(後期基本計画の策定)に合わせて、櫛引地域振興計画も見直す(更新)こととしました。計画期間は、令和6年(2024年)度から令和10年(2028年)度までの5年間です。

今回更新した櫛引地域振興計画では、「フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上」、「黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進」、「コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進」の3つの基本方針を柱に掲げ、人口減少時代を見据えた持続可能な地域を目指し活力のある地域づくりを推進していきます。



2. 櫛引地域の特性・概要

櫛引地域は、総面積 80.18 ㎢、東西に 19 km、南北に 16 km、西北部に放射状に広がる地形で、中山間地域も含め櫛引庁舎からいずれの集落へも車でおおよそ 10 分以内で行けるコンパクトな地勢となっています。

地域の主要な産業である農業では、水稻に加えて果樹や園芸作物、農産加工品などを組み合わせた複合農業を推進してきた伝統を有し、なかでも果樹生産においては、四季を通



▶ 樹園地農作業風景

して多くの種類が生産され、庄内地域では随一の多品目栽培地域になっています。一方、工業振興では、昭和 40 年代後半から地域に 3 つの工業団地を造成して企業誘致を積極的に推進し、雇用の場創出と併せ農工一体の地域づくりを推進してきました。

また、昭和 60 年代からは国道 112 号沿いを中心に行政による住宅用地 225 区画の造成分譲を行ったほか、民間企業による造成分譲も引き続き行われており、櫛引地域への定住促進に一定の役割を果たしてきました。

地域の文化的特徴としては、黒川能に代表される貴重な伝統芸能や伝統行事が各集落に伝承されています。地域の観光スポットである黒川能の里王祇会館や丸岡城跡及び加藤清正墓碑、横綱柏戸記念館をはじめ、くしびき温泉ゆーTownや櫛引総合運動公園、馬渡の桜並木、櫛引たらのきだいスキー場、ふるさとむら宝谷、地元出身の彫刻家富樫実氏による「空にける階段」のアートモニュメントなど、誇れる地域資源が多く存在しています。



▶ 馬渡の桜並木から鳥海山を望む

3. 市民との対話や社会情勢等の変化から得られた課題

(1) 現計画の取組に係る整理と検証

現計画の5年間で特に力を入れてきたものとして、「フルーツの里づくり」においては、SNSでの情報発信や、フルーツフェアの開催、加工品開発等に取り組み、地域のフルーツをPRし消費拡大につなげることができました。また、「歴史文化の継承と活用推進」においては、アナログ記録のアーカイブ化、英訳パンフレットの作成などを実施し、インバウンドも含めた観光や、保存伝承、教育等、今後に活かせる「形」として残すことができました。加えて、新たな公共交通の実証実験運行、健康増進施設として再出発したくしびき温泉ゆーTownの利活用などにも取り組んできました。



一方で新型コロナウイルス感染症流行の影響等もあり、様々な分野の担い手発掘などの取組が進まなかったことや、実現が困難になってきた施策もあり、当面はコロナ禍からの回復に努め、今後は、取り組んできた施策のブラッシュアップ、人口減少時代に見合った事業展開、優先度を考慮した施策展開が必要であると考えています。

(2) 市民との対話などから得られた課題

少子化は今に始まったものではなく50年以上前から始まっており、子どもを産み育てる若者世代の都市部への流出、農家所得の低迷による就業構造の変化、個の尊重や晩婚化に加え、生活様式・働き方の多様化、コミュニティの希薄化、世代間ギャップなど、人口減少や核家族化、後継者不足を進行させる要素が増えているのは、鶴岡、楡引に限らず、全国的な地方の抱える課題であります。さらに都市部においても人口減少が始まってきました。

これらを起因とする、農業を含めた産業全般、コミュニティ役員や伝統芸能等の担い手・人手不足、各種団体における構成員の減少と活動低迷、地域行事への参加者の減少、そして空き家問題など、以前から言われ続けてきたことも含まれますが、これらがさらに急速的に進み、潜在化から顕在化し、看過できない状況になりつつあると捉えられます。



▶豆腐焼き〔王祇祭〕

加えて、物価高騰等による家計への影響、農業を含め産業の維持も厳しさを増しています。また、異常気象を要因とする自然災害の頻発化・激甚化による防災意識の高まりへの対応や、活かしきれていない地域資源の魅力的な事業展開や体験メニュー・商品等の開発、情報発信の強化、広域的な観光連携などの取組が必要です。

特に、高齢者については、情報化社会への漫然とした不安を抱えており、より分かり易く丁寧な対応が求められています。また、コロナ禍で停滞した高齢者同士の交流の回復に向け、活動の内容や形態など、地域の要望や時代の変化を反映した活力向上につながるような支援や、フレイル予防対策として社会参加なども含めた、より複合的で幅広い健康増進への取組が望まれています。

今後は、更なる人口減少時代を見据え、限られた財源の中で、デジタル技術を取り入れながらコンパクトで持続可能な地域社会を維持していくことを第一に、SDGs未来都市の実現※1を目指し、担い手の育成・確保や市民協働による共助・協力体制の構築、フレイル予防等の健康増進、また、意欲のある市民や事業者、団体への各種支援など真に必要な施策に傾注していくことが必要となります。

※1 SDGs未来都市の実現

誰一人取り残さず、市民が本当に幸せだと思えるまちの実現



▶フレイル予防事業「ジョサネ体操」〔ゆーTown〕

4. 櫛引地域の目指す方向性

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、たくさんの人々が集い交流するにぎわいの創出と、地域住民が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。



▶ そば打ち体験〔ふるさとむら宝谷〕

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を活かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能をはじめとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。



▶ 交通安全週間「ナシナシナシ」
「〇〇〇作戦」

5. 施策の基本方針と主な施策

〔基本方針 1〕

フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

主な施策（１） 果樹生産基盤の強化の推進

担い手の育成や農業経営体の組織化、農業者の意向の把握など、円滑な園地継承の仕組みを構築するとともに、各種助成事業を積極的に活用し、施設の整備やスマート農業技術の導入など、果樹生産基盤の整備を促進します。

① 担い手の育成と樹園地の継承

●円滑な園地継承体制の構築

次世代を担う担い手への円滑な園地継承体制の構築に向け、果樹生産者の実態把握を行い、課題に基づく持続可能な園地継承の仕組みづくりにつなげていきます。

●果樹産地を支える多様な担い手の確保

中核的な担い手の育成や確保に向け、法人化等の調査研究を行い、産地を牽引する経営体の育成を支援します。また、果樹生産を新たな就労の場として捉え雇用の創出につながる取組を推進します。

② 果樹生産基盤の整備促進

●スマート農業技術の導入など効率的な生産体制の強化

高齢化や兼業化に対応できる品目や省力化技術・機械導入への支援を行いつつ、スマート農業技術の導入など、効率的な生産体制の強化の取組を推進します。

●樹園地の利用集積への取組推進

樹園地集積による経営規模拡大や耕作放棄樹園地の発生防止に係る調査研究活動の取組を推進します。

●国・県事業の積極的活用

国の補助事業により、振興品目・品種への改植、新植や灌水施設(スプリンクラー)等の小規模基盤整備、県の補助事業によるさくらんぼ等の高生産性施設や補強型ハウス、作業機械等の整備に支援を行いつつ、高品質な果樹生産を推進し、収量及び産出額の増大を目指します。また、収穫期の延長・分散化の取組によって果樹産地の拡大・強化を図ります。

●安全・安心の果樹生産

ＪＡ、産直あぐり等を通して、引き続きトレーサビリティ（生産履歴）、ポジティブリスト（残留農薬に関する基準）、さらにはＧＡＰ（農業生産工程管理）等への対応を図り、果樹産地としての安全・安心の生産体系を構築し、国際基準に対応した高品質な果樹生産への取組を推進します。

主な施策（２） フルーツの里ブランド化の推進

庄内地方で随一の多品目生産の果樹産地として、地域の持つ特徴を積極的にＰＲするとともに、付加価値を高める６次産業化を推進し「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。

① フルーツの里ブランド化支援

ＳＮＳ等を活用した積極的な情報発信、フルーツ関連イベントやプロモーション活動の実施、産直あぐり内に開設された観光果樹園紹介所と連携した果樹園の利用促進などを通して、「フルーツの里くしびき」のブランド化を推進します。



▶フルーツ食べ比べイベント

② 果樹加工品の開発・販売支援

県機関等の支援を得ながら、櫛引農工連、産直あぐり、生産者組織、企業等を通じた果実加工品の商品開発、販売などの６次産業化の取組を支援し、関係者の所得向上や雇用の確保を目指します。



▶加工ジュース

主な施策（３） 体験型観光産業の振興

観光果樹園や農家民宿、櫛引たらのきだいスキー場、ふるさとむら宝谷など、地域の施設を最大限に活用し、体験型観光等による都市部との交流人口の拡大を図ります。

① 観光果樹園等農業体験型観光の推進

地域の新鮮なフルーツを楽しめる観光果樹園、農業体験のできるふるさとむら宝谷、農家民宿など、地域の施設を活用した体験型観光を推進し、交流人口の増加と地域活力の向上を図ります。



▶ブドウ狩り〔観光果樹園〕

② 都市交流人口の拡大

横浜市立青木小学校との交流やＪＡ庄内たがわ青年部櫛引支部が実施している青木小学校での稲作出前授業、あおきふれあいまつりの交流支援を継続するとともに、これらの取組を足掛かりに都市部からの体験型観光客を積極的に受け入れ、交流人口の拡大を図ります。



▶青木小稲刈り体験

③ スキー場・ふるさとむら宝谷等の体験型観光の充実

市街地からのアクセスが良く、ナイター設備がある櫛引たらのきだいスキー場やそば打ち体験ができるふるさとむら宝谷など、特色ある地域の施設を活用した体験型観光を推進します。



▶櫛引たらのきだいスキー場来場者サンクスデー

主な施策（４） 地域資源を活用した観光振興の強化

出羽三山や加茂水族館等の観光資源を核としながらも、櫛引、朝日及び黄金地域一帯を鶴岡市南部エリアと位置づけ、観光関係者相互の連携強化を促進します。また、黒川能や丸岡城跡史跡公園、馬渡の桜並木など、それぞれが持つ地域資源の魅力度を高め、観光周遊ルートの形成や観光商品の開発、四季に応じた情報発信、デジタル技術の活用など、観光PRを強化し、インバウンドを含めた観光客の増加につなげます。

① 南部（櫛引・朝日・黄金）広域観光の推進

●鶴岡市南部エリア観光周遊ルートの形成

櫛引・朝日・黄金地域などの近隣の観光協会等と連携し、近隣地域にある観光資源と連動した魅力ある鶴岡市南部エリア観光周遊ルートの形成を目指します。ルートの設定に当たっては、マーケティング調査により有効性や経済効果等を検証するほか、関係者によるワークショップの開催により現状や実態の把握に取り組みます。

●交通網の整備促進

各方面からのアクセスをより充実させ、快適で円滑な観光ルートを形成するため、県道たらのき代鶴岡線バイパス（外内島～我老林）の延伸整備や農免道路（黒川2期地区）の整備促進を山形県に対して要望していきます。



▶六十里越街道〔松根〕

② 地域資源を活用した観光の推進

●櫛引パーキングエリアと連動した観光の推進

櫛引パーキングエリアは、駐車したまま観光果樹園を利用できるという上り線の立地特性を生かすことで、また、下り線は、連結する生き生きべんとう村のあやめの復活や自然体験フィールドとしての機能を向上させることで、利用者の拡大や利便性の向上を図るとともに、櫛引果樹の振興を図ります。



▶あやめ〔生き生きべんとう村〕

●横綱柏戸記念館

横綱柏戸記念館は、鶴岡市名誉市民で山形県民栄誉賞第1号受賞者の大相撲第47代横綱柏戸・鏡山親方の偉業を顕彰し後世に伝えるために建設された貴重な施設です。施設を活用し、官民が連携して相撲大会や関連イベントなどを実施することにより来館者の増加を図り、地域と観光の振興を推進します。



▶横綱柏戸記念館学童相撲大会

●櫛引赤川エリア（総合運動公園、馬渡の桜並木）

櫛引総合運動公園と櫛引赤川河川緑地は、野球場、サッカー場、グラウンドゴルフ場、なべっこ広場や遊具等が整備されており、地域内外から多くの利用者が訪れます。今後は、赤川かわまちづくり計画の位置付けの中で、スポーツや子育てが一体となった櫛引地域のいこいの親水空間となるよう、魅力を高めていきます。

また、本市の桜名所となっている赤川右岸の馬渡の桜並木については、一部が樹齢70年以上となっているため、老木化や病虫害の対策を図りながら、観光名所として保全していきます。



▶なべっこ広場〔総合運動公園〕

●地域資源活用の推進

櫛引地域には、黒川能や丸岡城跡史跡公園、観光果樹園などの多様な観光資源や、黒川能の行事食である凍み豆腐、在来作物の宝谷かぶなどの豊富な食文化がありますが、ほかにも身近な資源が数多くあります。それらの特色を組み合わせた魅力的な観光手法「地域ストーリー※1」を作成し、連携を図りながら交流人口の増加を目指します。



▶当屋豆腐〔黒川凍み豆腐〕

※1【参考】地域ストーリー

地域ストーリーとは、地域の自然・文化・生活・産業が持つ独自のストーリーを見つけ出し、顧客にとって経験可能なものへと具体化させ、そこで生まれた十人十色の感動を新たなストーリーとして紡ぐというプロセスを辿りながら、地域と都市の人々の共創が生み出す持続可能な「循環」です。【経済産業省 HP】

■ 檜引地域の主な地域資源

分野	内容
伝統芸能・歴史関係	黒川能、春日神社（祭事含む）、黒川能の里王祇会館、丸岡城跡史跡公園、天澤寺、虚頼庵と綴れ織り、吉祥寺、天狗舞・獅子舞等の各地区に残る伝統芸能や祭り
自然・観光関係	観光果樹園、産直めぐり、横綱柏戸記念館、馬渡の桜並木、やすらぎ公園、農家民宿、農業体験、檜引パーキングエリア地域拠点施設、生き活きべんとう村、かじかの里、檜引たらのきだいスキー場、ふるさとむら宝谷（そば・キャンプ場）、梳代（棚田）
その他	くしびき温泉ゆーTown、総合運動公園（なべっこ広場含む）、六十里越街道、空にかける階段パブリックアート、希少淡水魚イバラトミヨ

■ 檜引地域の主な食文化

分野	内容
伝統食関係	黒川能の行事食凍み豆腐（しみ豆腐）等、在来作物の宝谷かぶ
その他	多品目フルーツ、そば品種でわ宝



▶ 宝谷ふれあい広場キャンプ場

③ インバウンド観光の推進

官民連携のもと、黒川能の鑑賞や体験、檜引たらのきだいスキー場での雪とのふれあい、ふるさとむら宝谷でのそば打ち体験など、地域の伝統文化や施設等を活用した体験型のインバウンド観光を推進します。また、情報発信を強化するとともに無線インターネットの整備や多言語対応の強化など、インバウンド受入環境の整備を図ります。



▶ インバウンド受入れ〔黒川能〕

黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

主な施策（１） 民俗芸能の継承支援

黒川能保存伝承研究会※２などの開催により黒川能の魅力を伝え、映像や音源の保存記録を活用した伝承支援や後継者育成支援を継続するとともに、文化的価値の情報発信を推進します。また、天狗舞獅子舞などの民俗芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、継承活動を支援します。

※２【参考】黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取組を広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

① 黒川能の後継者育成

櫛引東小学校児童への仕舞指導の支援や発表機会の提供を通して、各世代における郷土の伝統芸能に対する理解や郷土愛を育くみながら、次世代後継者を育成する取組を一層推進します。



▶ 大地踏〔王祇祭〕

② 黒川能の保存伝承支援

無形文化遺産に造詣の深い識見者による講演や実演、デジタルアーカイブを素材としたプロモーションなど、能を通じた人的交流やマーケティングの拡大によって黒川能の価値認識を深め、幅広く地域住民各層の関わりを強めること等により、黒川能の保存伝承に対する機運の醸成を図ります。



▶ 黒川能保存会事業〔伝習館〕

③ 各地区の伝統芸能の保存伝承支援

伝統芸能保存会同志が集まり交流や発表する機会を設け、保存伝承に向けた意識の醸成を図るとともに後継者の育成や協力体制の強化を推進します。

また、各地区の伝統芸能保存会の実態を把握し、保存伝承に係る課題を明らかにするとともに、その解決に向けた支援を行います。

④ 黒川能の記録保存と活用

黒川能の映像や音声データをデジタル記録として保存し、伝承支援や後継者育成支援に活用していきます。

また、対外的にデジタル化したDVDやCDの貸出しやネット配信等により、黒川能の魅力を伝えるとともに、能面や装束等の写真や解説を掲載した「黒川能面装束図譜」などを通して、有形無形両面における歴史文化の資源価値を積極的に情報発信します。

主な施策（２） 歴史文化の活用推進、観光連携

丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を、指定管理者やガイドの会など関係団体と一緒に進めるとともに、デジタル技術等を活用した地域の歴史文化の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

① 文化的・歴史的価値の理解促進

歴史文化施設を拠点として、伝統文化を「観る」だけでなく、能面・装束や甲冑等の着付け「体験」を通じて、地域の伝統を体感できる場を提供するとともに、貴重な出土品や歴史的資料等の展示を充実させ、歴史的な背景や文化的な意義を学ぶ機会を提供することで、観光客や地域住民に対し歴史や文化的価値の理解促進を図ります。

② 歴史文化施設（王祇会館・丸岡城跡等）の観光連携

地域資源を活用した観光振興と連携することで、誘客力の向上を図るとともに、多言語による案内表示等の整備やガイダンスのデジタル化など、インバウンドを含む観光客へのサービス性向上を推進します。また、歴史文化施設を活かした体験メニューやお土産品等の開発を支援し、生産性の向上及び地域の活性化を図ります。



▶ 楽朋館〔丸岡城跡史跡公園ガイダンス施設〕

コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティ組織の設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、地域づくりとコミュニティ活性化のため、生涯学習の推進や、リーダーを育成する取組、ケーブルテレビを活用した地域情報の発信を進めます。併せて、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気な地域づくりを推進します。

主な施策（１） 活力と持続性のあるコミュニティの推進

地域コミュニティ活性化推進のための広域コミュニティの設置検討や、防災連携、生涯学習の推進を図り、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。

① 広域コミュニティ組織の形成と自治会支援

単位自治組織を越えた協力体制で生涯学習や防災・福祉等の地域課題を円滑に取り組むため、地域住民の意見を取り入れながら自治組織等の機能の補完や負担の軽減を図る広域コミュニティ形成に向けた検討を進めます。

このうち、生涯学習については、地域住民のニーズに応える「趣味の講座」や「主催事業」等の実施を推進するとともに、活動拠点となる櫛引生涯学習センターを安全・安心に利用できるよう維持管理等環境整備を図ります。

防災については、円滑に避難所開設・運営を行うため、小学校区単位での広域自主防災組織を構築し、地域との話し合いや避難所開設・運営の実技研修等を通して、地域の実態に即した計画づくりを支援していきます。

また、広域コミュニティ組織の形成を見据え、単位自治組織の将来の目指す姿とその実現に向けた取組を定める「地域ビジョン」の策定を支援します。



▶ コミュニティ検討ワークショップ

② KCTなどによる地域情報の発信

櫛引・朝日地域をエリアとする鶴岡市ケーブルテレビジョンについては、市政や地域情報、防災情報の映像や音声広報として、地域住民に対して情報発信を行っていきます。

放送内容については、放送番組審議会による番組制作の検証を行い、住民が行政に関心を持ち、積極的にまちづくりに参画してもらえるよう、効果的な番組づくりに努めていきます。今後、市のホームページやSNS等による情報発信と連携についても、対応可能な取組の実施について検討を行っていきます。

主な施策（２） 協働のまちづくりと地域のにぎわい創出

将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や交流の場を創出するとともに、地域住民による花いっぱい運動等の活動や若者世代によるこしゃってマルシェなどの取組を支援し、協働のまちづくりとにぎわい創出を促進します。

① 若者が活躍できる場の創出

くしびきこしゃってプロジェクトが開催しているこしゃってマルシェを支援し、地域のにぎわいを創出するとともに、櫛引生涯学習振興会の生涯学習事業との連携や、くしびき若者未来創造事業の実施により、地域活性化への提言や、若年世代を対象にした研修の開催、交流促進に努めます。



▶こしゃってマルシェ

② 地域住民参加型による取組

地域住民参加型で継続されてきた、市推奨花（旧櫛引町の花）サルビアの植栽事業である「花いっぱい運動」や県の絶滅危惧種に指定されている「イバラトミヨ」の保全活動などを、地域の活動団体と小中学生が一緒に取り組む多世代交流のコミュニティ活動と位置づけ、環境を守り住みよい特色あるまちづくりを目指して支援していきます。

また、地域資源等を活かした新規イベントの立ち上げを支援するとともに、市や地元組織等で開催している多彩な既存イベントについて、タイアップやリニューアルなど今後の開催のあり方の検討を支援していきます。



▶国道 112 号 サルビア植栽

主な施策（３） 高齢者等の交通環境の支援

スクールバス住民混乗利用を継続するとともに、現在実証実験事業として実施しているデマンド交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を行います。

① スクールバス住民混乗利用の継続

スクールバスの住民利用混乗利用を継続していくと共に、利用実態の調査分析や、今後の需要、要望を踏まえたうえで、適切なサービス提供のあり方について検討します。

② デマンド交通の推進

実証実験運行を実施しているデマンド交通は、令和6年11月の本運行移行に向けて、地域住民組織、関係団体との緊密な連携の基に運行内容の検証・改善を重ね、交通弱者の生活支援としての新たな公共交通制度を確立します。



▶くしびき〔デマンド交通〕

主な施策（４） 健康で安全・安心な地域づくりの推進

交通安全対策や防犯活動を推進するとともに、幼少期の教育支援や、くしびき温泉 ゆーTownを核とした健康増進、住民同士の語らいや交流活動の取組を促進することで、明るく健康で生きがいのある地域づくりを推進します。

① 交通安全・防犯対策の推進

櫛引地域に根付いている毎月1日の交通安全・防犯の日啓発事業を今後も継続し、櫛引地域の交通安全・防犯運動を推進するとともに、青パト活動等地域が独自に行う防犯活動の取組を支援します。



▶毎月1日 交通安全・防犯の日の小旗掲

② 明るく健やかな地域づくりの推進

●家庭教育と青少年教育の推進

家庭教育の一環として、櫛引地域の幼児と保護者を対象に実施している「人形劇」や青少年教育の一環として実施している「櫛引地域子ども会育成会連合会」による実技研修会やリーダー研修会等、櫛引地域独自の子育て支援の取組を推進して行きます。



▶親子人形劇〔家庭教育推進事業〕

●くしびき温泉ゆーTown

地元の温泉施設であるくしびき温泉ゆーTownでフレイル予防事業を行うことで、地元住民の健康増進を図り、明るく健康で暮らしやすい地域づくりを推進します。また、交流拡大による地域の活性化を図るため、令和4年度に作成したオリジナルキャラクター「ゆ〜たん」を活用した親しみやすい情報発信に取り組みます。



▶オリジナルキャラクター「ゆ〜たん」
〔ゆーTown〕

●健康な生活の推進

健康寿命の延伸に向け、各地区の保健福祉推進員や食生活改善推進員と連携しながら、各地区健康教室や健康と福祉のつどい等を開催し、がん検診や健診の受診率の向上、生活習慣病予防の啓発に取り組みます。



▶食生活改善講習〔下山添健康教室〕

●高齢者の健康維持と交流・支え合いの促進

介護予防事業を継続して実施するとともに、閉じこもりや認知症の予防、また見守りの観点からも高齢者同士の交流や語らいの場について、広域化多様化を視野にいれ活動の拠点づくりに取り組みます。

●高齢者の安全・安心な暮らしを支える取組

区長、民生児童委員、保健福祉推進員、櫛引福祉センター等関係機関と連携し、「災害時避難行動要支援者個別計画」の更新や「くしびき安心カード」の更なる普及に向けた取組を推進します。

1. 横引地域の施策の方向性（体系図）



地域振興の3本の柱

1. フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

- 果樹生産基盤の強化
 - ① 担い手育成と樹園地の継承
 - ② 果樹生産基盤の整備促進
- フルーツの里ブランド化の推進
 - ① フルーツの里ブランド化支援
 - ② 果樹加工品の開発・販売支援
- 体験型観光産業の振興
 - ① 観光果樹園等農業体験型観光の推進
 - ② 都市交流人口の拡大
 - ③ スキー場・ふるさとむら宝谷等の体験型観光の充実
- 地域資源を活用した観光振興の強化
 - ① 南部（櫛引・朝日・黄金）広域観光の推進
 - ② 地域資源を活用した観光の推進
 - ③ インバウンド観光の推進



2. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

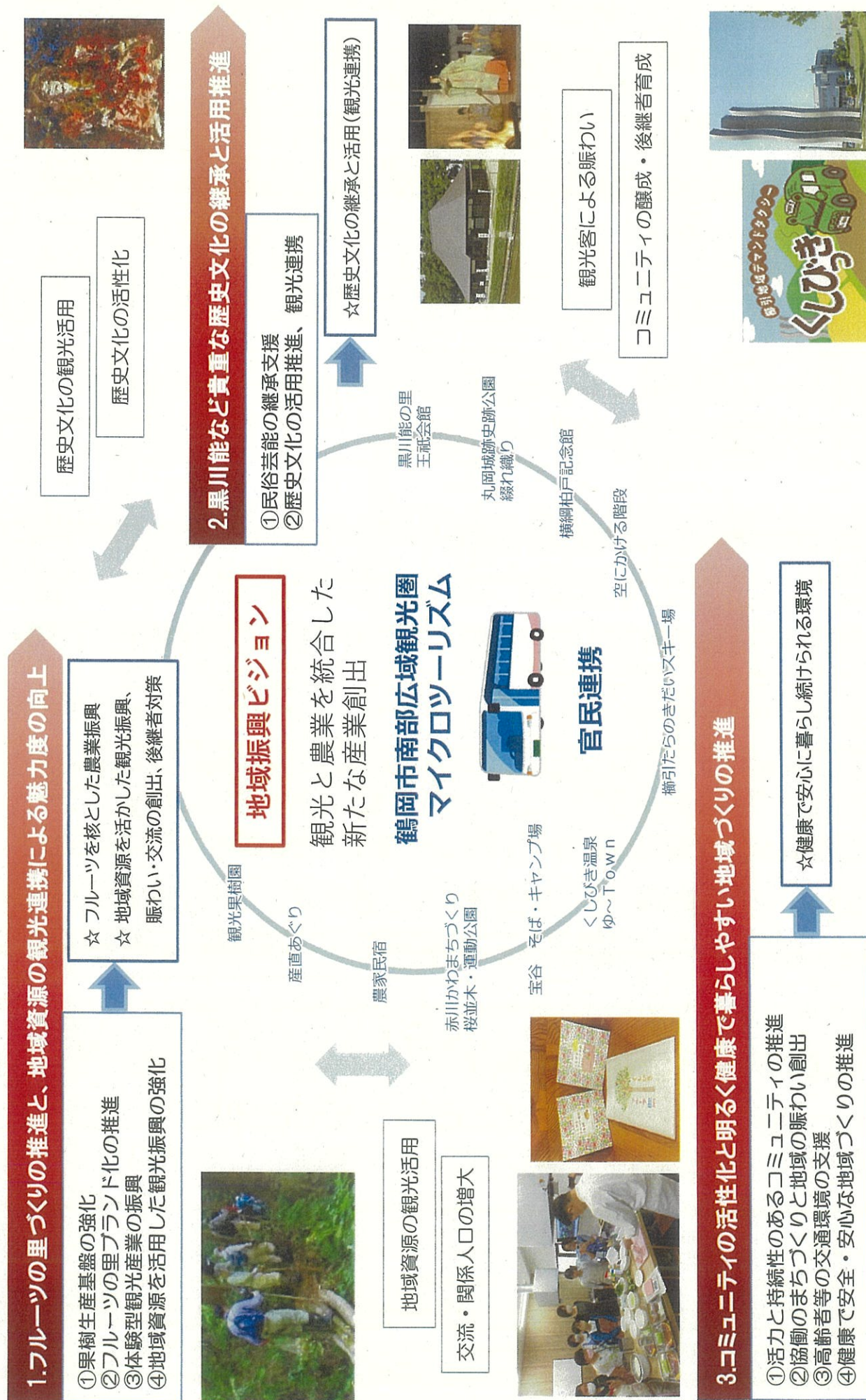
- 民俗芸能の継承支援
 - ① 黒川能の後継者育成
 - ② 黒川能の保存伝承支援
 - ③ 各地区の伝統芸能の保存伝承支援
 - ④ 黒川能の記録保存と活用
- 歴史文化の活用推進、観光連携
 - ① 文化的・歴史的価値の理解促進
 - ② 歴史文化施設（王祇会館、丸岡城跡等）の観光連携

3. コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

- 活力と持続性のあるコミュニティの推進
 - ① 広域コミュニティ組織の形成と自治会支援
 - ② KCTなどによる地域情報の発信
- 協働のまちづくりと地域の賑わい創出
 - ① 若者が活躍できる場の創出
 - ② 地域住民参加型による取組
- 高齢者等の交通環境の支援
 - ① スクールバス住民混乗利用の継続
 - ② デマンド交通の推進
- 健康で安全・安心な地域づくりの推進
 - ① 交通安全・防犯対策の推進
 - ② 明るく健やかな地域づくりの推進



2. 梶引地域の振興方針イメージ図



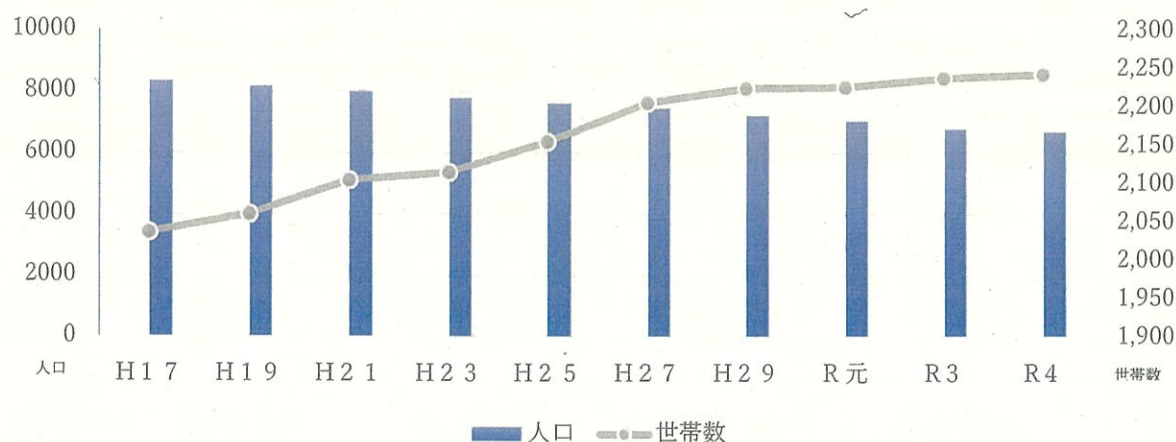
3. 鶴岡市及び櫛引地域の統計概要

【参考：住民基本台帳、統計資料】

区 分		単位	櫛引地域	市全体
人 口	H17.10.1	人	8,376	143,990
	R5.3.31	人	6,672 (対 H17 減少率 19.8%)	119,599 (対 H17 減少率 16.9%)
世 帯 数	H17.10.1	戸	2,031	45,493
	R5.3.31	戸	2,243 (対 H17 増加率 14.8%)	49,336 (対 H17 増加率 8.4%)
面 積		km ²	80.18	1,311.51
就業者数	R2 国勢調査		3,793	62,393
	第 1 次産業	人	673(17.7%)	5,598(9.0%)
	第 2 次産業	人	1,120(29.5%)	17,888(28.7%)
	第 3 次産業	人	1,851(48.8%)	37,544(60.2%)
	分類不能の産業	人	149(4.0%)	1,363(2.1%)
販売農家数	R2 農林業センサス	戸	517	3,352
自給的農家数	R2 農林業センサス ※推計値を含む	戸	165	1,123
経営耕地面積		a	173,816	1,550,126
工業事業所数	R3 経営センサス	事業所	41	446
商業(卸売業)事業所数		事業所	11	279
商業(小売業)事業所数		事業所	54	1,274
市営住宅	R5.4.1	戸	—	822
認可保育所	R5.4.1	所・人	4 所(園児数 247)	32 所(園児数 2,170)
認定こども園	R5.4.1	園・人	—	16 園(園児数 1,174)
地域型保育事業所	R5.4.1	施設	—	4 施設(47 人)
小 学 校	R5.4.30	校・人	3 校(児童数 328)	26 校(児童数 5,335)
中 学 校	R5.4.30	校・人	1 校(生徒数 172)	11 校(生徒数 2,955)
高等学校	R5.4.1	校	—	9
医療施設	R5.3.31	所	8 (病院 1) (一般診療所 5) (歯科診療所 2)	158 (病院 6) (一般診療所 103) (歯科診療所 49)

4. 櫛引地域人口・世帯数の推移

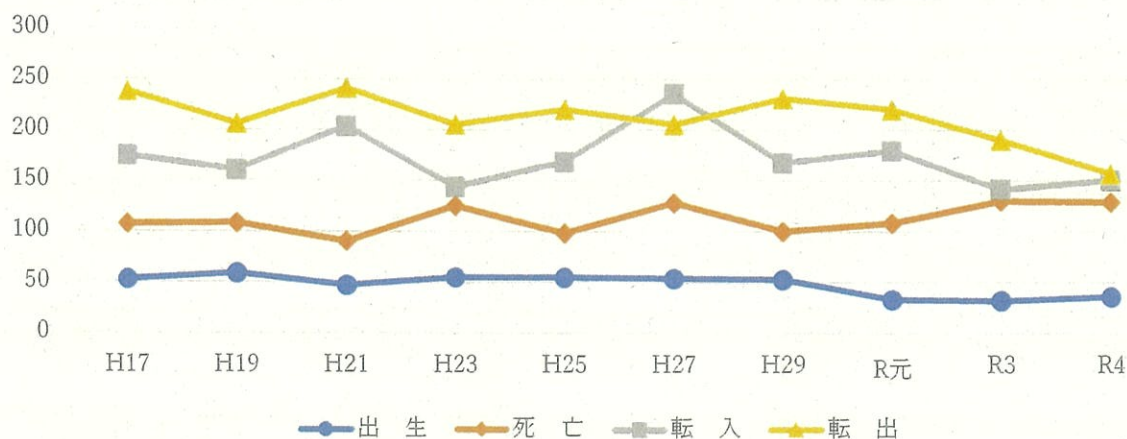
【資料：住民基本台帳／単位：世帯・人】



年度	人口	世帯数	年度	人口	世帯数
H17	8,324	2,037	H29	7,206	2,225
H19	8,166	2,061	R元	7,029	2,226
H21	7,982	2,105	R3	6,771	2,238
H23	7,783	2,115	R4	6,672	2,243
H25	7,605	2,155	R4-H17	▲1,652	206
H27	7,437	2,206			

5. 櫛引地域人口動態の推移

【資料：住民基本台帳／単位：人】



○自然動態

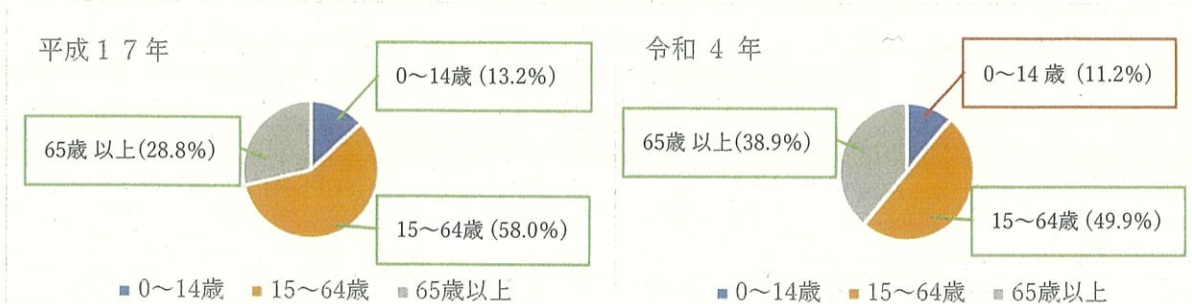
年度	H17	H19	H21	H23	H25	H27	H29	R元	R3	R4
出生	53	59	47	55	55	54	53	33	32	36
死亡	107	108	90	125	98	128	100	108	130	129
自然増加数	▲54	▲49	▲43	▲70	▲43	▲74	▲47	▲75	▲98	▲93

○社会動態 ※市外のほか市内の地域間での転居も含めた櫛引地域の異動

年度	H17	H19	H21	H23	H25	H27	H29	R元	R3	R4
転入	175	161	204	144	169	236	168	180	142	151
転出	238	206	241	205	220	205	231	220	190	157
社会増加数	▲63	▲45	▲37	▲61	▲51	31	▲63	▲40	▲48	▲6

6. 櫛引地域年代別人口割合の推移

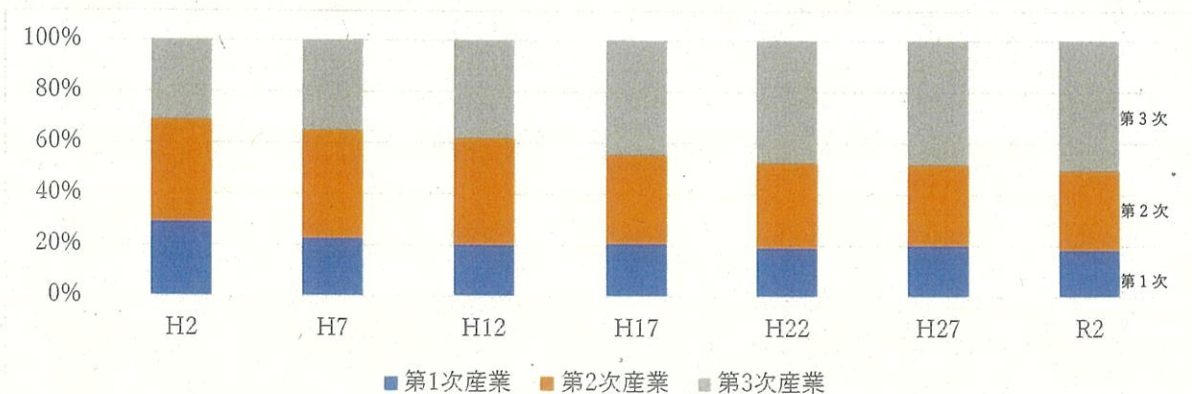
【資料：住民基本台帳／単位：％】



年度／区分	0～14歳(人)	割合(%)	15～64歳(人)	割合(%)	65歳以上(人)	割合(%)
H17	1,102	13.2	4,828	58.0	2,394	28.8
R4	749	11.2	3,328	49.9	2,595	38.9

7. 櫛引地域産業別就業者数の割合の推移

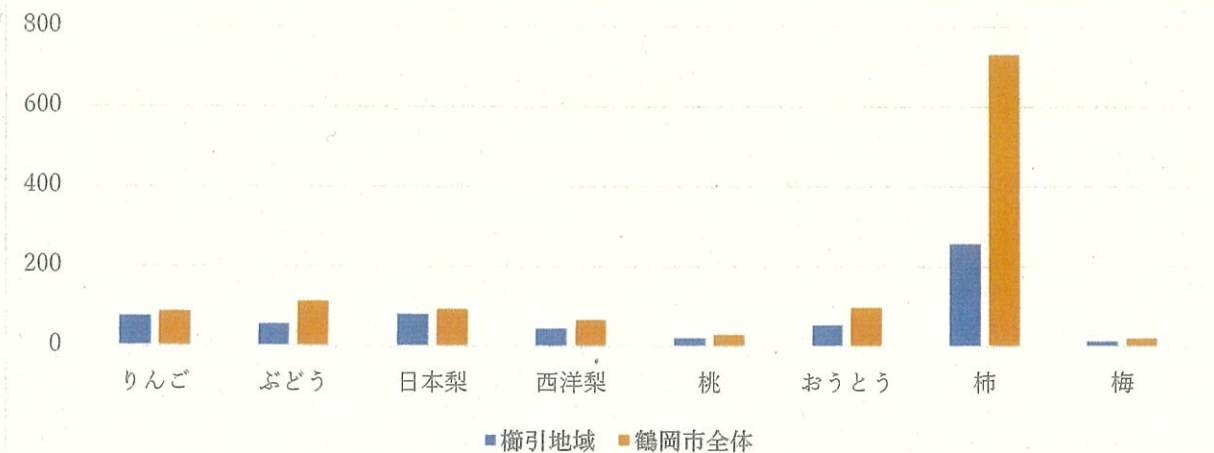
【資料：国勢調査／単位：％】



区分／年度	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
第1次産業	29.0	22.7	20.1	20.7	19.2	20.2	17.7
第2次産業	39.8	42.0	41.6	34.6	32.9	31.3	29.5
第3次産業	31.2	35.3	38.3	44.7	47.9	48.5	48.8

8. 鶴岡市及び櫛引地域の販売目的の主な果樹類の栽培経営体数

(家族経営分)【資料：R2 農林業センサス/単位：戸、a】

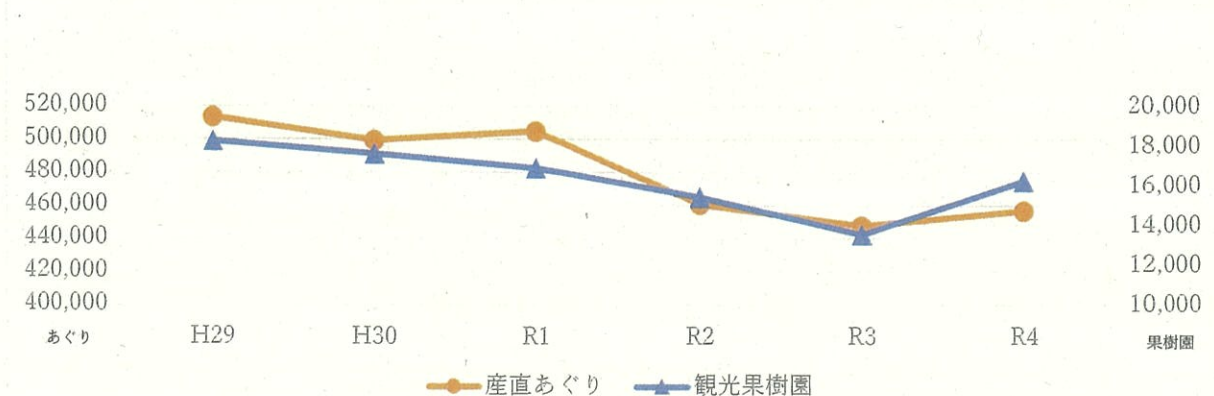


区 分	経営体数 (戸)	合計面積 (a)	りんご (戸)	ぶどう (戸)	日本梨 (戸)
①櫛引地域	339	18,569	74	55	80
②鶴岡市全体	910	46,554	85	111	92
①/②率 (%)	37.2	39.8	87.1	49.5	87.0
品目別	西洋梨 (戸)	桃 (戸)	おうとう (戸)	柿 (戸)	梅 (戸)
①櫛引地域	44	20	53	256	13
②鶴岡市全体	65	28	96	729	19
①/②率 (%)	67.7	71.4	55.2	35.1	68.4

※統計上三千刈地区は秘匿数値のため櫛引地域に含んでいない。

9. 観光果樹園及び産直あぐり入込客数推移

【資料：櫛引庁舎産業建設課/単位：人】



区分/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
観光果樹園	18,258	17,617	16,893	15,427	13,550	16,231
産直あぐり	513,456	499,185	504,906	460,786	447,548	456,707

10. 櫛引地域の主な施設の利用状況

【資料：櫛引庁舎産業建設課、スポーツ課、王祇会館／単位：人】

区分／年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
くしびき温泉ゆーTown	137,431	91,437	122,874	85,453	101,495	112,745
櫛引スポーツセンター・運動公園	106,494	99,379	94,524	67,844	72,646	77,052
櫛引パーキングエリア地域拠点施設	36,669	34,154	32,378	20,592	19,859	18,103
櫛引たらのきだいスキー場	26,575	29,025	4,803	25,637	30,307	36,261
黒川能の里王祇会館	14,843	13,542	11,033	4,243	5,184	5,897
ふるさとむら宝谷	5,316	5,958	5,962	3,939	4,534	6,009
農家民宿	3,505	3,507	3,065	1,190	1,344	2,075
櫛引生涯学習センター	22,976	20,403	17,222	12,869	13,630	18,072

11. 地域の主な文化財や伝統芸能等継承団体

①国指定重要無形民俗文化財

名 称	指定年月日	所有または所在
黒川能	昭和 51 年 5 月 4 日	黒川字宮の下

②国指定重要文化財

狩衣(紅地蜀紅文黄緞) 室町時代	昭和 60 年 6 月 6 日	黒川能上座
狩衣(藍紅紋紗地太極図印金) 室町時代	昭和 60 年 6 月 6 日	黒川能下座
小袖(白地草花海膽文辻が花染裾) 室町時代	昭和 60 年 6 月 6 日	黒川能上座

③県指定史跡

丸岡城跡及び加藤清正墓碑	昭和 38 年 1 月 22 日	丸岡字町の内
--------------	------------------	--------

④県指定有形文化財(能衣装 21 点)

狩衣(3点) 江戸前期～中期	昭和 30 年 8 月 1 日	春日神社、上下座
厚板唐織(1点) 江戸中期	昭和 30 年 8 月 1 日	春日神社
唐織(5点) 江戸中期～後期	昭和 31 年 5 月 11 日	上下座
厚板唐織(1点) 江戸中期	昭和 31 年 5 月 11 日	上下座
縫箔(5点) 江戸中期	昭和 31 年 5 月 11 日	上下座
長絹(2点) 江戸中期	昭和 31 年 5 月 11 日	上下座
厚板(3点) 江戸中期	昭和 31 年 5 月 11 日	上下座
狩衣(1点) 江戸中期	昭和 31 年 5 月 11 日	下座

⑤市指定有形文化財(19 件)

仏像・獅子頭・甲冑群・能面・古面・住宅ほか	昭和 43 年～平成 12 年	個人有・神社有ほか
-----------------------	-----------------	-----------

⑥市指定天然記念物

勝地の大杉(根周 7.2m、目通り 8.1m、樹高 24.5m)	昭和 57 年 3 月 5 日	板井川字勝地
----------------------------------	-----------------	--------

⑦市指定史跡

赤川渡舟跡(弘法の渡し)	平成元年 3 月 27 日	黒川字滝の上地内
首なし地藏堂と修理塚 安土桃山時代	平成 14 年 1 月 15 日	下山添一里塚地内

⑧伝統芸能等継承団体名

黒川能上座	黒川能下座
河内神社伝統文化保存会(西荒屋天狗舞獅子舞)	板井川河内神社天狗舞獅子舞保存会
東荒屋伝統文化保存会(天狗舞獅子舞)	下山添伝統文化保存会
八幡神社天狗舞獅子舞保存会(中田・常盤木)	丸岡諏訪神社天狗舞獅子舞保存会
上山添天狗舞獅子舞保存会	上山添奴振り保存会
松根塾獅子天狗舞伝承班	丸岡桐箱踊り等保存会
鶴岡倭楽伝承保存会(御神子舞指導)	

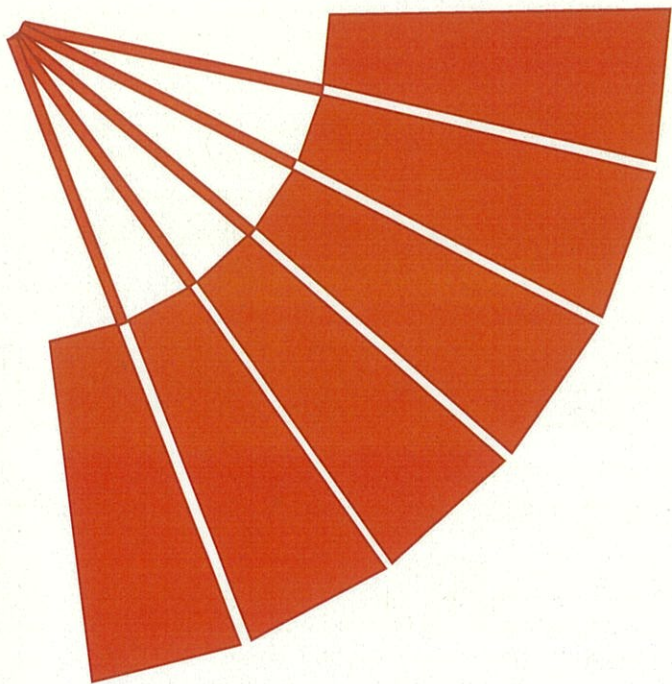
※他にも羽黒町高寺の雷電神社に奉仕する馬渡の獅子舞、黒川の春日神社に奉仕する獅子舞がある。

⑨史跡・遺構の顕彰等活動組織

団 体 名	主 な 活 動
荘内加藤清正公・忠廣公遺蹟顕彰会	加藤清正・忠廣親子の遺徳顕彰、丸岡城跡保全活動
松根塾	松根史研究、六十里越街道保全活動



▶丸岡桐箱踊り



▶ 第39回 水焰の能〔2023.7.29〕